

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年1月31日作成)

小委員会名	CFT 構造計算規準小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)	
設置期間	2018年4月 ～ 2021年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』を執筆および刊行する。 初年度：『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』の各章の執筆と審議を行う。 2年度：初年度に引き続き、各章の執筆と審議を行う。 3年度：『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』の原稿を完成させるとともに、本小委員会内および運営委員会、構造本委員会での査読を行う。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：津田恵吾(北九州市立大学名誉教授) 幹事：福元敏之(鹿島建設株)、藤永隆(神戸大学) 委員：池田憲一(東京理科大学)、伊藤倫夫(センクシア株)、荻野雅士(株日本設計)、河野昭彦(九州大学名誉教授)、城戸將江(北九州市立大学)、時野谷浩良(株大林組)、蛭川利彦(九州大学)、藤本利昭(日本大学)、松尾真太郎(九州大学)、村松匡太(鹿島建設株)	
設置WG (WG名：目的)		
2020年度予算	90,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：

項目	自己評価
委員会開催数	5回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会での討議により、長く使える規準とするため、1)長周期地震動に対する柱材の保有性能の実験データの蓄積、2)柱材の変形能力の再評価、3)耐力評価式の見直し、をすることになったために遅れている。
委員会活動の問題点・課題	1. 特に問題点はないが、刊行予定は2023年度の初頭を予定している。